

令和3年度国立公園満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会 議事録

開催日時	令和4年1月25日（火）13時30分～15時30分
出席者	名簿参照
議 事	
13:30	開会
九州地方環境事務所 岡本 所長	<p>皆様ご存知の通り、この国立公園満喫プロジェクトは、当初は2020年をターゲットに始まりました。全国の国立公園の中で、8つの先行地域を選定するという事で、制度設計をしたわけですが、その時に霧島錦江湾につきましては、地元からの強いご要望があり、また熱心なご説明を受け、採択をさせていただいた経緯がございます。</p> <p>私自身、その時本省での担当課長をしておりましたので、特に霧島地域の非常にご熱心なお気持ち、それから霧島錦江湾地域の、あるいは両県の大変ご熱心なお気持ちをいうのを記憶しております。</p> <p>昨年は、ポストコロナを見据えまして2025年を新たなターゲットとして、ステップアッププログラム2025を取りまとめたところであります。</p> <p>今日のこの協議会は新たな計画に基づく初めての開催であります。</p> <p>この2年間は新型コロナウイルスの影響を強く受けている状況であり、皆様方各地域とも大変厳しい状況にあるかと思えます。そういった中でも霧島神宮の国宝指定の話題や高原町における御池周辺施設の具体的な上質化事業、あるいは佐多岬におけるナイトプログラムの充実などのポストコロナを見据えて地域資源の活用に向けて、様々な取組が進められていると認識しております。</p> <p>皆様方、各地域の積極的な取組に感謝申し上げますとともに、本日の各報告を楽しみにしております。</p> <p>また、2050年までの脱炭素、これは昨今大きな国際的な潮流となっております。日本においても先般のG7サミットにおいて、国際公約として宣言をしたところでありますし、また、関係法案においても明記をし、国として2050年までのカーボンニュートラルを実現するという事を決めたわけであり、それとも連動いたしまして、観光分野でもサステナブルな視点をどう取り入れていくか、ということが国際的なスタンダードになっています。</p> <p>昨年11月にJATA、日本旅行業協会の幹部の方々、大手旅行会社の社長等の方々に集まっていただき、意見交換をしました。</p> <p>そのときの場での、今は大変厳しい状況にあるけれども、ポストコロナに向けてはSDGs、観光においても、それがキーワードになるということを各社の社長が仰っておられました。これからは観光も選ばれる時代になると、そういう中で、このサステナブルの視点というものが非常に重要になってくるというご指摘でした。</p> <p>環境省からも後ほど報告させていただきますが、例えば温泉熱を活用した体験農</p>

園、あるいは地産地消を目玉としたカフェなど、脱炭素と地域のサステナブルを併せ持った、そういった好事例も行われているというふうに認識しております。

ポストコロナにおいては、まずは日本国内、そして次は世界から魅力的な destination (ディスティネーション)、観光目的地として、この地域が選択されていくためにもぜひ地域ならではのストーリーをしっかりと構築しつつ、それらを皆様と一緒に強く協議をしながら、進めていきたいと考えております。

今は厳しい時期ではありますが、今だからこそ準備できることがあるかと思えますし、このコロナ明けのまた一斉に観光が戻ってくるときには、たくさんの競争相手の地域が世界中から出てくるわけですので、それまでの間、ある意味有益な情報交換と意見交換をさせていただきながら、今日の地域協議会にさせていただきたいと思っております。

ぜひ次を見据えた前向きなご議論をいただければと思っておりますので、本日はよろしく願いいたします。

宮崎県環境森林部 田村総括次長

皆様、こんにちは。宮崎県環境森林部総括次長の田村でございます。本日は、部長の河野が所用のため、出席できなくなりましたので、代わってご挨拶を申し上げます。

本地域協議会につきましては、昨年度に引き続き、オンラインでの開催になりましたが、皆様方におかれましては、ご多忙のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ご案内のとおり、霧島錦江湾国立公園では、2016年度から昨年度までの5年間、ステップアッププログラムに基づきまして、関係者が一体となってインバウンド誘客を中心にソフト、ハードの両面で計画的、集中的に様々な事業を展開してまいりました。

一方、新型コロナウイルスの影響により、国内外の利用者数が減少する中、新たに策定しました、ステップアッププログラム2025に基づきまして、国内誘客の強化や安心安全で快適に利用できる受け入れ環境の整備など、コロナ禍の時代に対応した新たな展開を図ることとなり、本県におきましてもアウトドアニーズの高まりを踏まえた、初心者向け登山教室や休憩所、給水施設の整備などに取り組んでいるところでございます。

今後とも関係機関の皆様と連携しながら、withコロナ、ポストコロナに対応した誘客促進や、受け入れ環境整備を図ってまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力の程をよろしくお願いいたします。

最後に新型コロナウイルスが一日も早く収束しまして、本プログラムに基づきまず取組によって、霧島錦江湾国立公園により多くの利用者が訪れ、地域経済の回復にも寄与することを期待いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

<p>高原町 高妻 町長</p>	<p>皆様こんにちは。宮崎県高原町長の高妻でございます。本日は、霧島錦江湾地域協議会のこういった形の出席になりましたけれども、どうかよろしくお願い申し上げます。</p> <p>高原町では御池の整備をこれまで、ステップアッププログラムに基づきまして、行ってまいりました。後ほど詳しい紹介をさせていただきますけれども、これまでの環境省及び森林管理局、そして宮崎県のご支援等によりまして、これまでの整備を進めてきておりまして、この御池に訪れていただきます観光客がここかなり増加をしてきているという状況で、効果を生み出しているところでございます。このコロナ禍のまだまだ感染拡大しておりますけれども、今後このコロナ終息後の新しい観光の形を作っていくというようなことで、ぜひまた本日様々なご意見等をお伺いしながら、また高原町のこの国立公園の中での御池あるいは霧島への観光振興に努めてまいりたいと思いますので、本日はどうかよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>霧島市 中重 市長</p>	<p>皆様こんにちは。霧島市長の中重です。環境省をはじめ本日ご出席の皆様には日ごろから大変お世話になっております。さて、霧島市におきましては、観光地霧島の価値を高めるため、また、併せて国立公園霧島の価値を高めるために、実は4年前から、霧島神宮の国宝化というものについて教育委員会の社会教育課と、庁内でも極秘極秘で進めてきたところでございます。霧島市においては、霧島神宮、そして鹿児島神宮と二つの神宮がある珍しい市でございますが、この二つが、霧島神宮が国宝、そして同時に鹿児島神宮が国の重要文化財に指定されるという答申を同時にいただいたところでありまして、今後の観光等にもしっかりとそれを活かしていければと思っております。</p> <p>今後、霧島神宮におきましては、国立公園利用拠点滞在環境等上質化事業を活用して、Wi-Fi、フリーWi-Fiの整備をさせていただいたり、このような事業を活用しながら観光地としての価値を高め多くの皆様に来ていただけるように推進していきたいというふうに考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>私、この後別の公務もありまして、担当の方が変わりますが、今日はどうか最後までよろしくお願いいたします。</p>
<p>湧水町 池上 町長</p>	<p>鹿児島県湧水町の池上でございます。本日はよろしくお願い申し上げます。</p> <p>本町の現状といたしましては、合併して18年目になりますけれども、大体3千人ほど人口減少しておりますが、そういった状況でありますので、近々の課題は以前から人口減少問題でございましたが、ただ、一朝一夕に解決する問題ではございませんので、並行して、関係人口、それから交流人口増加対策に取り組んでいるところであります。</p> <p>現在の新たな事業の導入など、環境省の皆様方のご理解をいただきながら、地熱発電事業、これによりまして、併せて体験型観光施設を充実していく予定であります。</p>

<p>南大隅町 石 畑町長</p>	<p>すし、また鹿児島県のお力添えをいただきまして、魅力ある観光づくり事業も今着々と進んでいるところであります。これからも皆様方と連携を深めさせていただきながら、事業によって観光振興につなげていきたいというふうに思っているところであります。</p> <p>今後ともどうかこういったステップアッププログラム2025に基づき、本町といたしましても新たな事業の導入に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも引き続き皆様方のお力添えを賜りたいというふうに思っております。どうぞ本日もよろしくお願い申し上げます。</p> <p>皆さんこんにちは。鹿児島県南大隅町の石畑博と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>環境省のおかげで、佐多岬の開発、野営場、そしてまた雄川の滝等の整備が進んできておりまして、ほぼハード面が完成をいたしておりますが、なかなか地の利も悪くて、観光戦略には苦戦をしているところでございます。</p> <p>また、町の概況としましては、高齢化率が一番高い町ということでございますけれども、観光客はこの間、増えたり減ったりでございますが、整備を基に増えてきていることは事実でございます。これから先、皆様方の色々なご意見等を賜りながら、観光で稼げる戦略をつくっていきたくと考えます。どうぞひとつ皆様方のお力添えを賜り、本日はご意見を参考にさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>13 : 45</p>	<p>議題 1 SUP2025 に基づく各機関の取組について (1) 霧島地域の取組</p>
<p>鹿児島県環境 林務部 松下 部長</p> <p>宮崎県自然環 境課 鮑田副 主幹</p>	<p>資料 1-1 に沿って宮崎県、えびの市、高原町、霧島市、湧水町から取組状況の説明(質疑)</p> <p>鹿児島県です。</p> <p>宮崎県さんの方に少しお伺いしますけれども、宮崎県さんの国定公園は海岸部と山岳部2箇所ずつございますが、これまでの各国定公園の取組はどのようなものがございますか？</p> <p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>それぞれ特色の違うところでございます。海の方については、どちらも観光振興の切り口からの取組ということにはなるのですけれども、海の方ではマリンスポーツ、サーフィンであったり、といったところを活かした地域振興、それから県北に日向市というところがございます、そちらの方では今ワーケーションというところに非常に力を入れられているというふうに伺っております。</p>

<p>鹿児島県環境 林務部 松下 部長</p>	<p>一方、山の方ですけれども、こちら山を自然を活かしたワーケーションというところで、九州中央山地の方の椎葉村というところがございます。日本三大秘境とかいうふうに言われておりますけれども、そういったところでのそういうワーケーションの取組であったりとか、あと毎年定例的に行われている、登山、トレッキングのイベントであったりとか、そういったところを、国定公園での誘客というふうな切り口で新たなことをやろうということではなくて、今までやってきたことを磨き上げていこうというふうなことで、今年度からこのような取組をはじめたいというふうな状況でございます。</p> <p>以上でございます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>引き続き、誘客促進計画について今少しお聞きしたのですが、どのような内容で、核となる取組はどのようなものがございませうでしょうか。</p>
<p>宮崎県自然環境課 飽田副 主幹</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>今申し上げたように、それぞれ特徴の違う、実情も様々な公園でございますので、ある程度統一的な部分で、目標数値の設定ですとか、そういったところはあるのですが、今年度のやり方としては、それぞれで持っておられる強み、逆に課題、そういったところを取りまとめていきながら、4年度、5年度に向けて、どんな新規事業を立てていこうかとか、あるいは隣の市、町と一緒にできることはないかとか、いうふうなものをプランの中に盛り込んでいって、可能であれば、その改正公園法の制度の中にのっけていって、それを活用すると、いうふうなことを考えているということでございます。中々こう現段階で、具体的にこれをやりますと、いうふうなご紹介の段階ではないのですけれども、そういった仕組みをうまく使いながら、展開してまいりたいと考えております。</p>
<p>鹿児島県環境 林務部 松下 部長</p>	<p>はい。わかりました。ありがとうございます。</p> <p>以前、祖母傾とか、中央山地の方にもお伺いさせていただきました。非常に素晴らしいところだと思っております。また、4つの国定公園がうまく周遊できるようなコースとか設定できればいいかなと思っております。以上です。</p>
<p>高原町 高妻 町長</p>	<p>先ほどの霧島市さんの方からありました、e-bikeについて、ちょっとおたずねしたいのですが、霧島市さん、環境省の方でも把握しておられたら、ちょっとお話を聞きたいのですが、高原町の方でもこのe-bikeを実は、導入しようと発注をしておりますが、今非常に品薄状態だということで、納入見通しがついてないという状況がありまして、高原町でもこの二次交通、あるいは山岳地帯が多いものですから、導入したいということで計画しておりますけど、このe-bikeのこの全国的にこの今、需要が多いということがあろうかと思っておりますけど、そのような状</p>

事務局 吉澤 所長	<p>況がもしおわかりであれば、環境省の方で把握されていれば少しお伺いしたいのですけども。</p> <p>霧島錦江湾国立公園管理事務所です。ご質問ありがとうございます。</p> <p>高原町様からご指摘いただいた通り、その環境省の補助金などを活用してe-bikeを導入しようという動きをされている時に、それが品薄だというお話自体は高原町などからお話しを伺っております。</p> <p>他の自治体でも、e-bikeなどをすでに導入されていますので、霧島市やあるいは始良市は確かレンタルサイクル導入されていると思いますし、湧水町さんはe-bikeを検討されているかと思うのですが、そういった情報をお持ちであれば、霧島市さんから何かお一言いただいてもよろしいでしょうか？</p>
霧島市商工観 光施設課 松 崎施設管理グ ループ長	<p>霧島市です。</p> <p>霧島市観光協会の方が主体となって、すでにこれまで導入している部分があります。</p> <p>現在の入荷といった状況については、申し訳ありませんが、把握ができていない状況にありますので、他の市町村で何かそういった把握ができていれば、よろしくお願ひします。</p>
始良市企画部 高山部長	<p>始良市企画部長の高山です。よろしくお願ひします。</p> <p>本市でも観光協会の方で、昨年11月に観光庁の補助事業で導入しておりますが、現時点で60回ほど利用があるようです。市内を3つのコースを設定しまして、現在運用しております、利用後にはアンケートにも回答をいただいている状況であります。</p>
湧水町産業振 興課 福寿課 長補佐	<p>湧水町です。湧水町につきましては、ただ今購入について検討を進めておりました、補助事業の採択等に向けて今事務を進めているところですが、町内の自転車屋さんに聞きますと、今頼んでも、物自体いつ来るか分からないというような話だけは聞いております。</p> <p>湧水町としても導入を進めていきたいというふうに考えているのですが、物が入ってこないということになると、取り扱いをどうするかということで、部内で調整しているところです。以上です。</p>
えびの市商工 観光課 吉留 課長	<p>えびの市につきましては、令和元年、2年続けて導入いたしまして、現時点では導入の予定はないところでございまして、物が入ってこないとかいう情報については、まだ把握していないところでございます。以上です。</p>

<p>鹿児島県観光連盟 木村係長</p> <p>事務局 吉澤 所長</p> <p>高原町 高妻 町長</p>	<p>鹿児島県観光連盟の木村です。</p> <p>さっき、湧水町の福寿様からもありましたけども、我々の各地の取組と連携させていただいているのですが、先ほどありましたけど環境省さんの補助事業でe-bike買えるっていうふうなのを受けて、全国的にそういうふうな購入の動きがありまして、鹿児島県内においても奄美大島の島々、各市町とかもほとんど自転車購入している形になっているので、もう本当に品薄になっているところではみんなから聞いていますので、それ以上のことは我々もないのですが、全国的な、鹿児島県内だけで、鹿児島、宮崎だけでないという状況ですので、そういうふうな影響が出ているのではないかと思っていますところ。以上です。</p> <p>ありがとうございます。このようなお答えで、高原町の高妻町長いかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。ちょっと心配しておりましたけれども、また、なんとか入手できますように頑張ってみます。ありがとうございました。</p>
<p>14：20</p>	<p>議題1 SUP2025に基づく各機関の取組について (2) 桜島・錦江湾奥地域及び指宿・佐多地域の取組</p>
<p>高原町 高妻 町長</p> <p>南大隅町商工観光課 立神 係長</p>	<p>鹿児島市、指宿市、南大隅町から取組状況の説明 (質疑)</p> <p>南大隅町様の佐多岬のナイトプログラムについて質問をさせていただきます。非常におもしろい企画じゃないかなと思って今話を聞かせていただきました。以前、地域部会で私共の職員の方が、この夜間のコンテンツに対します、安全確保の質問をしたようでありますが、この夜のコンテンツに対します、南大隅町さんでの安全面とか、いわゆるそのそういった工夫とか、こういった対策をされているのか、御池でも、来られた方の夜も含めて滞在時間を長くしたい、そういった工夫も今後考えていかなければならないというのがありますが、そういった安全確保や夜間での魅力創出、工夫された点がもしあればお伺いしたいと思います。よろしくお願いたします。</p> <p>ご質問ありがとうございます。南大隅町の立神です。今回このツアーに関しましては実証ということでさせていただきました。夜間のプログラムだったことによりまして、結構職員の配置だったりもしたのですけれども、コンシェルジュを南大隅町の方がおまして、そのコンシェルジュを前後に挟みまして、いろいろと、遊歩道等を歩いたりしたのですけれども、あと、ランタンですね。ランタンをちょうど</p>

<p>高原町 高妻町長</p>	<p>みなさん職員の方が持ちまして、間に挟んで安全確保を充分気を付けながら実証を行ったところでもあります。以上ですけれども、よろしかったでしょうか？</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>九州地方環境事務所 岡本所長</p>	<p>所長の岡本ですけれども、先ほど、鹿児島市さんのジオパーク、ジオツアーのお話をいただいたのですけれども、特に、例えば、お茶のブレンド体験とか、養殖カンパチの餌やりとか、農林水産業、いわゆるグリーンツーリズムであるとか、そういったものとジオツーリズムを結び付けたところがすごく興味深いのですが、どんな点を工夫されたか、ストーリー作りの中で、ジオとグリーンみたいなものを結び付けたか、お知恵がありましたら皆さん参考になるかなと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>鹿児島市世界遺産・ジオパーク推進課 川畑主幹</p>	<p>鹿児島市の川畑です。</p> <p>ジオパーク自体が貴重な地形地質、そういうのを活かして教育とか観光とか、あるいは、防災そのようなものに資する取組をするというような形なのですが、そもそもその農業とかグリーンツーリズムというものも地形地質に関わるところが大きいものかと思います。</p> <p>なので、例えば、この土地でなぜこの作物ができるのかとか、あるいはここでなぜこういう魚が養殖できるのかとか、そのようなのを地形地質にからめて説明していくような形で取組めるようになっております。今の説明でよろしかったでしょうか？</p>
<p>九州地方環境事務所 岡本所長</p>	<p>ありがとうございます。ブラタモリでもこんな感じですよ。すごく面白いと思います。ありがとうございます。</p>
<p>九州農政局 長野参事官</p>	<p>ここの資料にジオガストロミーと書いてあります。まさにこれですよ。</p>
<p>鹿児島市世界遺産・ジオパーク推進課 川畑主幹</p>	<p>地形地質とあと食文化、そのようなものを大いに結び付けて考えるということをするれば、より興味を持っていただけるというような考えがあると思います。</p>
<p>九州農政局 長野参事官</p>	<p>まさに地産地消につながる取組かと思います。ありがとうございます。</p>

14 : 30	<p>議題1 SUP2025 に基づく各機関の取組について (3) 地域間にまたがる取組</p>
鹿児島県観光連盟 橋口部長	<p>鹿児島県、鹿児島県観光連盟、環境省から取組状況の説明。 (質疑) 鹿児島県観光連盟です。 吉澤所長の方に質問があるのですが、写真コンテストの件なのですが、こちら協議会の方で利用できるということでお伺いしましたが、こちらは、例えば、私共観光連盟で鹿児島県のホームページ等を管理しておりますが、そういった中で使用したいとかそういったこともできるということでしょうか？</p>
事務局 吉澤所長	<p>ご質問ありがとうございます。鹿児島県観光連盟さんのWebサイトなどでも利用できるようにはしたいと思っておりますが、著作権がですね、撮影者の方に帰属をしたまま環境省霧島錦江湾事務所がOKを出した方にだけ使っていただけるという仕組みになる予定です。ですので、連盟さんのWebサイトに載ることはもちろん問題ないですけれども、そこからさらに二次使用などがされないようにですね、Webサイト上に無断転載禁止と書くとかですね、何かしらの方策は必要かなと思っております。以上です。</p>
鹿児島県観光連盟 橋口部長	<p>ありがとうございます。 また、詳細はご相談させてください。ありがとうございます。</p>
九州地方環境事務所 松永課長	<p>九州地方環境事務所で国立公園課長をしております松永と言います。 先ほど吉澤所長の方からご紹介があった、サステナブルツーリズムの件で、冒頭にも少し紹介させてもらったのですが、JATAという日本旅行業協会というJTBさんとか日本旅行さんとか役員のクラスが集まっている会議がありまして、先日その旅行業協会さんと環境省の方で意見交換の場を持ちました。中々いろんな話題がテーマとしては上がったのですが、中々コロナで結構厳しい状況にあるという中で、具体的な意見としてサステナブルツーリズムに関しては、今後も需要回復に見据えて今必要とされるような取組はなんですかというような質問をさせてもらったときに、訪日需要、今年は中々難しいかもしれないですけど、来年以降必ず戻ってくるだろうというところで、海外からの旅行者への日本のニーズはやはり高いと、欧米豪を対象としたアンケートでは、日本は2番目くらいの順番になっていて、アジアの中では、絶対日本に行きたいみたいな声は非常に強く感じると、調査では出ているというような話を聞いています。その中で重要になってくるのが、安心、安全、清潔さという、コロナということも深く関わってくると思いますけれども、そして特に欧州とか北米に関してはサステナブルツーリズムの関心が非常</p>

	<p>に高いと。今のうちにこのサステナブルツーリズムの取組をしっかりと進めていくことが必要なんじゃないかと、海外からの旅行者の目線で進めていけば、おのずと国内の旅行者にも対応できるのではないかというようなご意見をもらって、やはり旅行業界全体の意識としても、そういうスタンスが非常に強いのだなというふうに感じてますので、今日環境省の方からご紹介させてもらった取組ですとか、あとは皆さんからご紹介いただいた取組、特に鹿児島市さんのジオと地産地消と結び付けた取組だとか、あとは湧水町さんの方で、温泉熱を活用して、今後しっかりと脱炭素とサステナブルを絡めたような観光の環境を作っていくというような取組は非常にサステナブルに通ずるのではないかなというふうに思いました。</p> <p>冒頭の挨拶の重複にはなってしまいますけれども、関係者みんなでその辺を意識しながらですね、しっかりストーリーを構築して準備をしていければいいのではないかなというふうに思ったところです。</p> <p>ちょっと私どもから質問というか、いきなり振る形で申し訳ないのですが、一方で観光業界はなかなかサステナブルに対する、一步を踏み出せないというところもあるかと思うのですが、それにサポートする立場である銀行さん、今日出席されていると思うのですが、鹿児島銀行さんでも、宮崎銀行さんでもいいのですが、そういった支援という立場でのサステナブルへの関わり方という観点で少しコメントをいただくとありがたいなと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>鹿児島銀行 小笹部長</p>	<p>鹿児島銀行です。</p> <p>観光とサステナブルのところにつきましては、はっきりとサステナブルと、今考えているわけではけしてないのですが、ただ、鹿児島の観光地、ようは行ってほしい場所で考えた時には、国立公園も含めてそうなのですが、サステナブルという観点で、例えば先ほど出ましたけど地熱の農園であったり、地熱を活用した農園であったりとか、こういったところについて、やっぱり使っていければなと思っております。なので、こういったところを海外で、インバウンドに向けて発信するというのをやっていきたいと思っております。以上です。</p>
<p>宮崎銀行 隈 部調査役</p>	<p>宮崎銀行でございます。本日は部長の小森園の方からですね、こちらに出席してご説明するところなのですが、すみません、ちょっと所用がありまして、代理に担当の隈部と申します。発言させていただきます。</p> <p>今ご質問をいただいた、金融機関としてのいろんな支援できることということで、1つは鹿児島銀行さんも言われたみたいに、サステナブルというものについて我々の方がやはり宮崎県内の企業の皆様、代表者の方ともお話する機会が多いので、そういった部分についてはいろいろな情勢とか、我々の持っている情報、そういったものをお伝えできればと思っております。また、実質的なところでいきますと、いろいろな告知の部分とか、そういうもの出てくるかと思っております。そう</p>

	<p>いうものに対して私共の支店や例えば店舗も、こういったロビーとかそういったものを使っての、皆様から、自治体様とか環境省様からサステナブル的なものの情宣、コンテンツの例えば掲示依頼とか、そういったものについてですね、ご協力させていただくことは充分可能と思っております。</p> <p>また、サステナブルの定義というのが非常に難しいと思っているのですが、例えばもしそういうのに対して興味をもっているお取引先等がございまして、その中でまた自治体様とか環境省様の方からのご依頼、その中でマッチングを受ける部分がありましたら、是非ご協力させていただきたいとこのように考えております。</p> <p>宮崎銀行は以上でございます。</p>
九州地方環境事務所 松永課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>やはり、地域の資源を活用していくことと、地域の観光資源のベースとなる自然環境を守っていくことに企業が関わっていくということもこれから重要になってくると思いますので、宮崎銀行さん、鹿児島銀行さんの力っていうのも益々大きな位置づけになってくるかと思っておりますので、今後とも引き続きよろしくお願ひします。私からは以上です。</p>
九州農政局 長野地方参事官	<p>九州農政局からです。いつもお世話になっております。</p> <p>農政局長野と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>資料1・2の方にも少し書いてあるのですが、私どもは、農泊という形で、漁村農村地域に存在する地域資源を有効活用して観光につなげていきたいと思いますという形で取り組んでおります。そういう中で、交付金を活用しまして、そういう地域を応援しているということでございます。その中で農観連携、農泊という形ですけど、農観連携の検討会を立ち上げてやっている、モデル地域を選定して、その他の地域も別にまた応援していくという形で取り組んでいるところでございます。</p> <p>昨日、そういう検討会をやったところですが、取組の中で、「食」が当然入ってきます。そこはちょっととりあえず置いて、昨日いくつかの取組の中であったのが、一つはふるさと納税を活用した取組があり、非常におもしろいなと思ったので、ここでご紹介をさせていただきたいと思ひます。今日のいくつかの各市町村の取組を拝見させていただいたのですが、体験型の取組プログラムがいくつかありました。そういう中で、例えばふるさと納税の返礼品、お返しとしてクーポンとか、バウチャーとか、こういう取組ができますよみたいなものも、もしかすると面白いのかなと思ひます。</p> <p>また、今サステナブルという言葉が出て、なかなか難しいなと聞いていたのですが、日本の観光って私の感覚からいうと、一過性のものが多いんですよ。そういう意味でいくと、市町村、地域の方からすると、関係を一過性のものではなくて、サステナブルなものにしていくことができるのかっていうのが一つの切り口な</p>

	<p>のかなというふうに思います。たとえば、ふるさと納税みたいな仕組みをうまく活用しながら濃い関係を作っていくって、いわゆるサステナブルな関係にしていくっていうのが、別な意味でのサステナブルツーリズムっていう形になるのではないかなみたいなことをちょっと考えながら聞いていました。感想ですが以上です。ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。</p>
15:15	議題 2 その他
事務局 吉澤 所長	<p>(資料2に基づき地域協議会の設置要綱改定案について報告) (参考資料1に基づき令和4年度国際観光旅客税による補助メニューの紹介)</p>
15:20	閉会
鹿児島県環境 林務部 松下 部長	<p>鹿児島県の環境林務部の松下でございます。閉会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、2年連続でWEB開催となりましたが、業務ご多忙の中、長時間にわたりまして熱心にご議論いただき誠にありがとうございます。本日は、昨年度策定したステップアッププログラム2025に基づく各機関の取組についてご報告と意見交換を行いました。</p> <p>今後このプログラムの目標である、公園利用者数の復活などを図るため、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらではありますが、これまで行ってきた取組を活かしつつ、霧島錦江湾国立公園の豊富な自然、文化などの地域資源を活用し、サステナブルツーリズムやアドベンチャーツーリズムのような新しい誘客の切り口を連携して取組む必要があると考えています。皆様にはそれぞれのお立場から引き続きご尽力下さるようお願いいたします。</p> <p>コロナの影響がまだまだ続いておりますが、明けない夜はないと信じております。本プロジェクトを通じて宮崎、鹿児島両県がそれぞれの豊かな自然を磨き上げ、コロナ収束後、より多くの方々が霧島錦江湾国立公園を訪れ、その魅力を満喫していただくことにより、地域の活性化をより一層深めて参りたいと考えております。決意を述べさせていただいて、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p>
進行(椎葉管理 官)	<p>以上をもちまして、令和3年度国立公園満喫プロジェクト霧島錦江湾地域協議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>